

今こそ 若い力で 新しい習志野。

Report 関根ひろゆき

No
56



令和五年第二回定例会
市政報告

JR津田沼駅南口市街地再開発事業

Q:本市負担額140億円の妥当性について伺う。

A:公共施設管理者負担金・補助金等に係る概算額約20億円と習志野文化ホール取得に係る概算額約120億円となっている。

建設資材の高騰や労務単価、工事費の上昇や市民サービスを目的とした200㎡規模の公共施設を含んでいることを踏まえると、基本構想で示した費用と同等の金額であることから概ね妥当な金額であると受け止めている。

なお、総事業費は1400億円を見込んでいる。

200㎡の公共施設の活用

習志野市では、200㎡規模の公共施設の活用方法として、連絡所機能及びパスポートセンターを予定しております。

駅前の一等地であることから連絡所機能は現在と同様に十分に役割を果たすものであると考えますが、パスポートセンターの新設には疑問が残ります。

約10年先の完成を考えると、パスポートの申請もオンラインが主流になり、窓口は不要になると考えております。

現にオンライン申請も各センターで始まっていることから、パスポートセンターに代わる公共施設を検討していく必要性を感じます。

緞帳とパイプオルガンについて

Q:文化ホールの緞帳とパイプオルガンの取り扱いについて伺う。

A:緞帳は現在設置されているものを再利用を予定している。

パイプオルガンの再設置については財源確保が課題であることから、クラウドファンディングによりその確保を図り、可否を判断していく。

要望:クラウドファンディングのみならず、ネーミングライツ等も活用し、財源確保に努めていただく様要望。





旧庁舎跡地の今後の活用

Q:文化ホールの移転先が正式に南口に決まった今、旧庁舎跡地の今後の活用について伺う。

A:財源確保策として、資産の有効活用を図るよう庁内の検討会議で活用方法の検討を進めていく。

要望:財源確保策としての活用は大いに賛成だが市民益につながるよう、民間からの知恵を借りながら様々な活用方法を検討していただきたい。



豊島区役所の活用事例

東京都豊島区役所では、上層階を分譲マンションにすることにより、建設費用を捻出しながら、利便性の向上を図る取り組みを行っております。習志野市でも十分に検討する価値はある事業だと考えます。



完成予想図

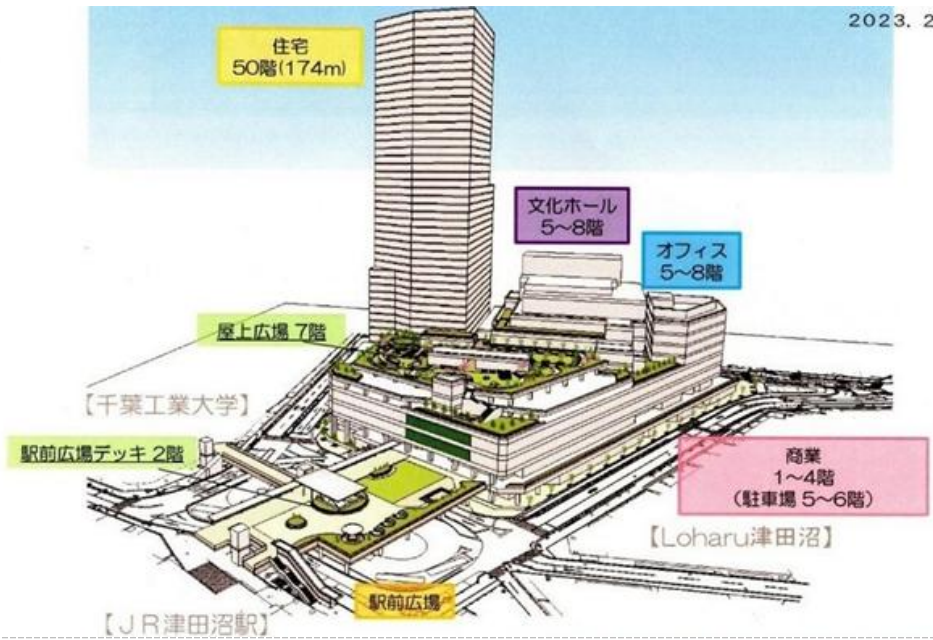
2023. 2. 13時点

令和7年4月
既存建物の解体

令和13年中
施設建築物竣工

令和14年中
事業完了

※現時点でのタイムスケジュールとなります。



活動報告

関根ひろゆき Report

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒業

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年二期目の当選

発行:関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 :047-779-4092

討議資料



公式LINE



Instagram



ホームページ